

事業名称	齋宮を核とした平安文化活用発信事業 (地域と連携・協働した発掘現場の公開・活用の仕組みづくり) (齋宮を積極的に外部発信するための公開講座)			
実行委員会	齋宮活性化実行委員会			
中核館	齋宮歴史博物館			
	住所	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503		
	TEL	0596-52-3800	FAX	0596-52-3724
	ホームページ	www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/		
構成団体	齋宮歴史博物館 明和町齋宮跡・文化観光課 国史跡齋宮跡協議会 公財) 国史跡齋宮跡保存協会 明和町商工会 明和町観光協会 明和町特産品振興連絡協議会 齋宮ガイドボランティアの会 齋宮歴史博物館友の会 国史跡齋宮跡伊勢街道まちづくり会			
事業開始時点 の課題分析	<p>史跡指定から 40 年を迎える史跡齋宮跡は、まだ広く認知されているとは言い難い。その理由として、伊勢神宮と深くかかわりを持つ国家の神祇政策の拠点としての、一般にわかりにくい性格や、137ha にも及ぶ史跡の広大さと、地上に構築物が一切残されていない、歴史記録が乏しいなどが考えられる。</p> <p>しかし、齋宮跡は実態解明のための発掘調査開始から 50 年目を迎えようとしており、平安時代の年の構造や、飛鳥・奈良時代の宮殿域など、多大な成果をあげ、歴史的・文化的価値が高められてきた。この史跡と住民や来訪者との距離を縮めて、次世代に文化財の意義や魅力を伝える活動を行っていくことで、歴史に学び、新たな文化のありかたを地域から構築していくような、今後の博物館活動の在り方を求めていく必要がある。</p>			
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡という地域に密着した文化財を活用していく上で、住民がもっと齋宮を身近に感じ、その価値に触れ、知る機会・方法を増やすことで、地域が史跡を支えるとともにこれを活かしたまちづくりの土台づくりを行う。 ・ 地域の齋宮跡への意識や意欲を深めるだけでなく、広めていく上で、文化財の保護・保全と活用に関わる人材の育成も必要であり、若い世代や若年層との交流による地域の大人たちの活動の活性化も進めていく。 ・ 大都市圏で、齋宮の価値や解明の状況を報告する講演会を開催することで、文化財に高い関心を持つ人たちに、新たに齋宮への関心を高め引き付けていく。 			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齋宮跡で実施する発掘調査の方法や過程・調査成果を、地域住民や地域団体による誘客等の協力を得ながら、発掘現場をその進捗状況から全面的に公開していくとともに、見学・参加を通して貴重な文化遺産とじかに触れ合える場を提供する。また、地元大学生がこれに関わることで、文化遺産の保護と活用に意欲のある人材の育成を目指した。 ・ ほんものの発掘を「見られる」「参加できる」齋宮跡として、県内外に発掘調査成果を紹介する PR 活動を行い、周知度を高めることにより齋宮跡を核とした交流人口の拡大に努めた。 ・ 発掘による解明で高められてきた齋宮跡の価値を伝え、誘客と地域の誇りを醸成するため、三大都市圏（横浜・愛知・大阪）で、他の博物館等と連携して公開講座を実施した。 			

<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>《実施項目》</p> <p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークベニューの促進</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p><input type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p><input type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p><input type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p><input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p> <p>《実施体系》</p> <p>1 地域の文化財の活用のしくみづくりのための基盤整備</p> <p>(1) 「ほんもの」の文化財の実態解明に立ち会い、参加する場の整備</p> <p>史跡の発掘調査の過程の常時公開</p> <p>(2) 文化財を守り・活かす人材の育成</p> <p>①大学と連携した人材の育成や、文化財を活かした地域づくりや人材育成</p> <p>②児童・生徒を対象とした、多彩な歴史体験の実施</p> <p>2 斎宮を積極的に外部発信するための公開講座</p> <p>(1) 大都市圏での公開講座の開催</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>「1 (1) 地域の文化財の活用のしくみづくりのための基盤整備」としては、今年度の第193次・195次調査において、調査時の全面的な公開および発掘成果を報告する現地説明会を開催し、目標の500人を超えるのべ758人が発掘現場を見学・参加した。</p> <p>「1 (2) 文化財を守り・活かす人材の育成」では、今年度の発掘成果の地域住民らへの報告会に、地元大学生に準備・当日スタッフ・あとかたづけに参加してもらい、文化遺産を介した地域事業に参画する機会を作った。また、大学生にも発掘現場に参加してもらい、文化財からじかに学ぶ機会を作った。</p> <p>「2 (1) 斎宮を積極的に外部発信するための公開講座」としては、大都市圏にある愛知県陶磁美術館、大阪歴史博物館、横浜市歴史博物館の三館との連携事業として、発掘調査の積み重ねにより高められてきた史跡斎宮跡の価値を伝える公開講座をそれぞれの館で行った。また、斎宮跡の情報発信の一環として、愛知では公開講座の内容に関連づけて重要文化財を含む史跡斎宮跡出土品のミニ展示を、横浜では斎宮跡出土の羊形硯・鳥形硯のレプリカと斎宮案内のパネル展示を行った。三館での公開講座では、目標の300人を超える443名の参加を得るとともに、関連展示で3,845人の展観があり、知名度が高いとは言えない斎宮跡の情報発信につながった。</p>

以上のような結果を、斎宮活性化実行委員会や、地元住民や県民向けの発掘成果報告会などの中で地域に還元し、地域の史跡斎宮跡への誇りや、自らの参画による斎宮跡を活かしたまちづくりへの意欲が高められたと感じている。

【事業実績】

1 地域の文化財の活用のしくみづくりのための基盤整備

(1) 「ほんもの」の文化財の実態解明に立ち会い、参加する場の整備・史跡の発掘調査の過程の常時公開

史跡斎宮跡の発掘調査を、調査途中からからも一般に公開し、発掘の方法や、斎宮跡での発掘調査成果にじかに触れてもらえるようにした。発掘調査の実施は、実行委員会構成団体などにも周知し、ガイドボランティアによる来訪客の誘導や、地元の明和町や財団、観光協会からもPRされるようにした。

一般見学者 609名 現地説明会参加者 149名



第 193 次調査現地説明会



第 195 次調査現地説明会

(2) 文化財を守り・活かす人材の育成

発掘調査に、連携協定を締結した地元大学の大学生が参加し、文化財にじかに触れて学ぶ機会を作った。また、年度末に開催した発掘成果報告会の準備・受付スタッフとしても一部の大学生の参加を得た。また、地元小学校を対象に体験発掘を行うなど、文化財にじかに触れることで、その大切さを理解し、地域への愛着・誇りにつなげるようにした。

大学生の参画 のべ86名 体験発掘参加者 51名



大学生の発掘参加



発掘成果報告会のようす

2 斎宮を積極的に外部発信するための公開講座

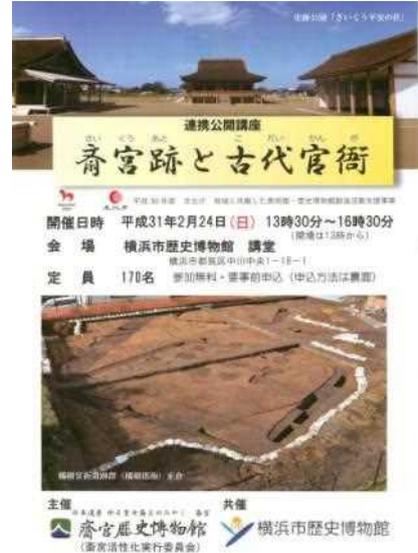
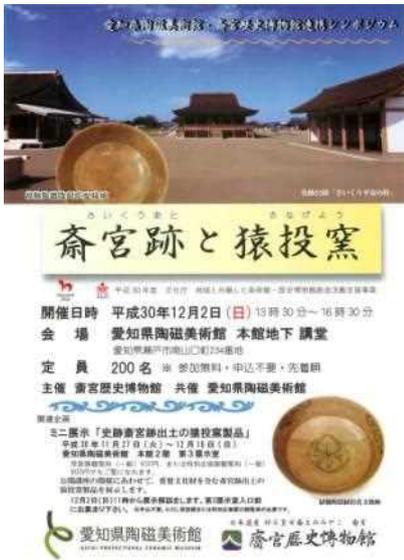
(1) 大都市圏での公開講座の開催

愛知県陶磁美術館・大阪歴史博物館・横浜市歴史博物館と連携し、発掘調査によって価値を高められてきた史跡斎宮跡の調査成果を、開催地の文化財と関連させたテーマをもとに伝える公開講座を開催した。大都市圏での斎宮跡の知名度を高め、積極的な誘客にもつなげようとするものである。アンケート結果からも、それぞれの地域の歴史ファンの斎宮への認識と関心を高められたといえる。

なお、愛知県陶磁美術館では、愛知県猿投窯をテーマとしたことにあわせ、斎宮跡出土の重要文化財を含む

猿投窯産の陶器 17 点のミニ展示を行い、横浜市歴史博物館では、重文である羊形硯・鳥形硯のレプリカと斎宮跡を紹介するパネルの展示を関連事業として行い、多数の展観を得て来館者の斎宮跡への関心を高められた。

また、この事業により、本事業中核館の斎宮歴史博物館と、大都市圏の博物館・美術館の連携・協力関係を強化できた点も大きな成果だった。



各会場のチラシ

○連携公開講座「斎宮跡と猿投窯」

日時:平成 30 年 12 月 2 日(日) 13:30~16:30
 会場:愛知県陶磁美術館 講堂
 講座内容:「都城・官衙研究からみた斎宮解明」三重大学教授 小澤毅氏
 「発掘による史跡斎宮跡の解明」斎宮歴史博物館 宮原佑治
 「猿投窯の発展と斎宮」愛知県陶磁美術館 大西遼氏
 ミニ・シンポジウム「古代における斎宮の歴史的意義」
 関連企画:ミニ展示「史跡斎宮跡出土の猿投窯製品」
 平成 30 年 11 月 27 日(火)~12 月 16 日(日)
 愛知県陶磁美術館 第3展示室
 参加者: 公開講座 81名 ミニ展示 711名

○連携公開講座「斎宮跡と難波宮」

日時:平成 31 年 1 月 20 日(日) 13:00~16:00
 会場:大阪歴史博物館 講堂
 講座内容:「奈良・平安時代の都城」同志社女子大学教授 山田邦和氏
 「古代における斎宮跡の変革」斎宮歴史博物館 大川勝宏
 「後期難波宮の成立と展開」大阪歴史博物館 李陽浩氏
 ミニ・シンポジウム「古代における斎宮の歴史的意義」
 参加者: 公開講座 166名

○連携公開講座「斎宮跡と古代官衙」

日時:平成 31 年 2 月 24 日(日) 13:30~16:30
 会場:横浜市歴史博物館 講堂
 講座内容:「桓武天皇と伊勢神宮・斎王・斎宮」聖心女子大学教授 佐々木恵介氏
 「発掘による史跡斎宮跡の解明」斎宮歴史博物館 大川勝宏

「史跡橘樹官衙遺跡群と関東の古代官衙」川崎市教育委員会 栗田一生氏
ミニ・シンポジウム「古代における斎宮の歴史的意義」

関連企画:重要文化財羊形硯・鳥形硯レプリカ展示

平成 31 年 2 月 5 日(火)~2 月 24 日(日)

横浜市歴史博物館 エントランス

参加者: 公開講座 196名 レプリカ展示 3, 134名



公開講座【愛知】



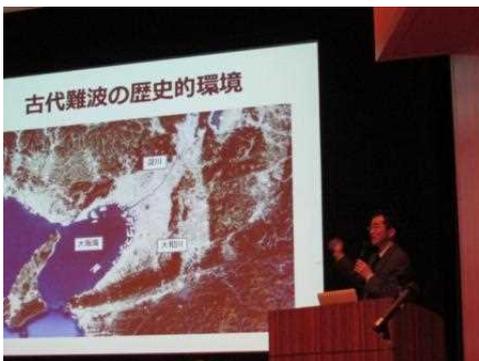
公開講座【愛知】



ミニ展示【愛知】



公開講座【大阪】



公開講座【大阪】



レプリカ展示【横浜】



公開講座【横浜】



公開講座【横浜】

【アンケート結果】

Q：どちらから来られましたか？

【愛知】			【大阪】			【横浜】		
どちらから	数	割合	どちらから	数	割合	どちらから	数	割合
瀬戸市内	11	37.9%	大阪市内	34	44.7%	横浜市内	51	85.0%
愛知県内	16	55.2%	大阪府内	24	31.6%	神奈川県内	2	3.3%
愛知県外	2	6.9%	大阪府外	18	23.7%	神奈川県外	7	11.7%
計	29	100%	計	76	100.0%	計	60	100.0%

《県内内訳》	《県外内訳》	《主な府内内訳》	《府外内訳》	《県内内訳》	《県外内訳》
名古屋市	静岡県	堺市	兵庫県	相模原市	東京都
高浜市	岐阜県	交野市	奈良県	川崎市	千葉県
みよし市		豊中市	京都府		大阪府
春日井市		枚方市	愛知県		
尾張旭市			三重県		

Q：今回の講座にあなたはどの程度満足しましたか？

【愛知】			【大阪】			【横浜】		
満足度	数	割合	満足度	数	割合	満足度	数	割合
満足した	18	62.1%	満足した	49	64.5%	満足した	35	58.3%
やや満足した	9	31.0%	やや満足した	22	28.9%	やや満足した	21	35.0%
やや不満	2	6.9%	やや不満	0	0.0%	やや不満	2	3.3%
不満	0	0.0%	不満	0	0.0%	不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%	無回答	5	6.6%	無回答	2	3.3%
計	29	100.0%	計	76	100.0%	計	60	100.0%

Q：今回の講座でああなたの齋宮への理解度は深まりましたか？

【愛知】			【大阪】		
齋宮跡について	数	割合	齋宮跡について	数	割合
齋宮をはじめて知った	8	27.6%	齋宮をはじめて知った	23	30.3%
知ってはいたが、さらに理解できた	19	65.5%	知ってはいたが、さらに理解できた	48	63.2%
だいたい知っている内容だった	2	6.9%	だいたい知っている内容だった	3	3.9%
あまり理解できなかった	0	0.0%	あまり理解できなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%	その他	1	1.3%
無回答	0	0.0%	無回答	1	1.3%
計	29	100.0%	計	76	100.0%

【横浜】		
齋宮跡について	数	割合
齋宮をはじめて知った	16	26.7%
知ってはいたが、さらに理解できた	40	66.7%
だいたい知っている内容だった	1	1.7%
あまり理解できなかった	1	1.7%
その他	1	1.7%
無回答	1	1.7%
計	60	100.0%

No. (45) 平成30年度 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業成果報告書

事業名称	斎宮を核とした平安文化活用発信事業 「(斎宮と平安時代のダイバーシティシンポジウム)」		
実行委員会	斎宮活性化実行委員会		
中核館	斎宮歴史博物館		
	住所	〒515-0325	
	TEL	0596-52-3800	FAX 0596-52-3724
	ホームページ	http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/	
構成団体	斎宮歴史博物館、明和町斎宮跡・文化観光課、国史跡斎宮跡協議会 公益財団法人国史跡斎宮跡保存協会、明和町商工会、明和町観光協会 明和町特産品振興連絡協議会、斎宮ガイドボランティア、斎宮歴史博物館友の会、 国史跡斎宮跡伊勢街道まちづくり会		
事業開始時点の課題分析	斎宮の存在した平安時代には、働き方や男女協業、家族のありかたなど、多様性について現代から見ても参考になる素材が少なくない。国の政策としても、近年推奨されているダイバーシティの推進は、三重県においてもダイバーシティ社会の実現に向け、様々な形で普及・支援活動が行われている。しかし、「ダイバーシティ」とは、何かということが十分に伝わっていない。そのため、多くの人々に周知し、興味関心をもってもらう必要がある。		
事業目的	平安時代の家族・子育てや男女の社会参画・文化の国際性・性的多様性などについての最新の研究に学び、現代における多様性の意義や認識について、新たな可能性を提示するシンポジウムを行うことで、現代的な課題を平安時代の文化を介して考えるという新しい形の問題提起を行う。また、博物館活動に興味を持つ人々や地域の住民に対しては、古代史・女性史に深くかかわる本館の新たな社会的役割を構築する機会としたい。		
事業概要	ダイバーシティの推進をねらい、シンポジウムを開催した。第1回は、平安時代の男女協働における食文化の役割と、現代の食文化における役割分担について、ダイバーシティの観点を取り入れたシンポジウムを行った。第2回は、平安時代の社会を支えたいろいろな意識について考え、現代との比較からダイバーシティの観点を取り入れたシンポジウムを行った。		
実施項目	(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館 <input type="checkbox"/> ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携 <input type="checkbox"/> イ ユニークベニューの促進 <input type="checkbox"/> ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館 <input checked="" type="checkbox"/> エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信 (2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動 <input type="checkbox"/> ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成 <input type="checkbox"/> イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施 <input type="checkbox"/> エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業 (3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館		

	<p>■ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p>□イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>実施体系</p>	<p>1 (1) 第1回齋宮ダイバーシティ・シンポジウム 「女と男の食文化-平安時代から「今」を考える」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実行委員会の開催 ② 講師・コーディネーターとの調整 ③ 広報活動 ④ シンポジウムの実施 ⑤ 結果の公開 <p>(2) 第2回齋宮ダイバーシティ・シンポジウム 「いろいろな人たちが作り上げた平安時代」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実行委員会の開催 ② 講師・コーディネーターとの調整 ③ 広報活動 ④ シンポジウムの実施 ⑤ 結果の公開 <p>(3) 関連企画・・・鋳造、土馬作り、墨書土器の体験コーナー</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学生スタッフの募集 ② 第1回開催 ③ 第2回開催
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>国の政策としても、近年推奨されているダイバーシティの推進は、三重県においてもダイバーシティ社会の実現に向け、様々な形で普及・支援活動が行われている。その中でもユニークな試みとして注目された2回実施の齋宮ダイバーシティ・シンポジウムにより、現代的な課題を平安時代の文化を介して考えるという新しい形の問題提起を行うことができ、博物館活動に興味を持つ人々や地域の住民に対して発信し、古代史・女性史に深くかかわる本館の新たな社会的役割を構築することにつながった。</p>

【事業実績】

① 第1回齋宮ダイバーシティ・シンポジウム「女と男の食文化-平安時代から“今”を考える」

平成30年11月11日（日） 会場：齋宮歴史博物館 【参加者数61名】

（講演）

^{しょうじあやこ}東海林亜矢子氏（お茶の水女子大学基幹研究院研究員）「平安時代の妻と夫～藤原道長の妻は“奥”様にあらず」

^{こまだあきこ}駒田聡子氏（皇學館大学教授）「現代伊勢のイクメンたち～現代伊勢における家族協働」

^{きしださなえ}岸田早苗（学芸普及課主幹）「平安時代の記録に見える食文化」

^{なりたみよ}成田美代氏（三重大学名誉教授）「三重県の食文化—魚食文化から見た地域の食と家の食—」

この講演内容をもとに平安時代の男女協働における食文化の役割と、現代の食文化における役割分担について、ダイバーシティの観点を取り入れたシンポジウムを行った。

総合コーディネーター^{ふくとさなえ}服藤早苗氏（埼玉学園大学名誉教授）は、「男は動物性食料の調理、女は植物性食料の調理」、これが日本古来の食に対する分業である。まとめとして「歴史の足跡から多くの事を学び、今の暮らしに生かしていきましょう。」とコメントされた。



第1回 パンフレット

② 第2回齋宮ダイバーシティ・シンポジウム「いろいろな人たちが作り上げた平安時代」

平成31年2月11日（月・祝） 場所：いつきのみや地域交流センター 【参加者数100名】

（講演）

^{さわだとうこ}澤田瞳子氏（作家）「私の描いた奈良時代の女官たち」

^{もとひろみ}本橋裕美氏（愛知県立大学准教授）「物語世界の多様な恋と

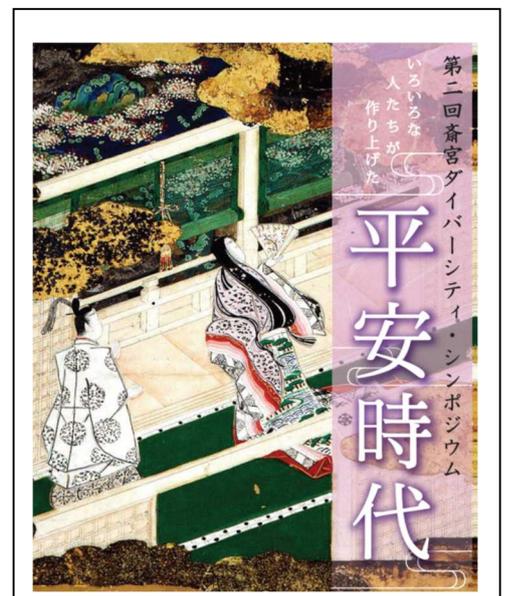
生き方-雅の世界のLGBT-

^{えむらひろゆき}榎村寛之（齋宮歴史博物館学芸普及課長）「ダイバーシティの平安時代～おんな・おとこ・外つ園びと」

^{うえあきひろ}上地明宏氏（皇學館大学非常勤講師・元伊勢市小学校長）「異文化との出会い～ペルー体験記と民族楽器紹介」

この講演内容をもとに平安時代の社会を支えたいろいろな意識について考え、現代との比較からダイバーシティの観点を取り入れたシンポジウムを行った。

総合コーディネーター^{さかきばらちづる}榎原千鶴氏（名古屋大学教授）は、「ダイバーシティにみる現代の課題」として、自身の活動をいくつか紹介し、「さまざまなダイバーシティ推進施策を着実に実行していきます。」とコメントされました。



第2回 パンフレット

③ 関連企画（铸造、土馬作り、墨書土器の体験コーナー）

第1回 平成30年11月 11日(日) 【参加者数56名】

第2回 平成31年 2月 11日(月・祝) 【参加者数31名】



铸造体験



墨書土器体験



土馬作り体験説明資料



土馬完成作品

第1回ダイバーシティ・シンポジウム「女と男の食文化」についてのアンケート

平成 30 年 11 月 11 日実施 受講者 61 名 30 枚回収 回収率 50%

・あなたの性別は？

性別	男性	女性	無回答	(人)
	13	16	1	

・あなたの年齢は？

男性	10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	無回答	(人)
	0	0	0	2	2	5	3	1	0	

女性	10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	無回答	(人)
	0	0	0	1	3	1	7	3	1	

無回答	10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	無回答	(人)
	0	0	0	0	0	0	1	0	0	

・どちらからいらっしゃいましたか？

三重県内	三重県外	(人)
30	0	

県内のどちら？

明和町	北勢地域	中勢地域	南勢地域	志摩地域	伊賀地域	東紀州地域	(人)
9	3	6	10	1	1	0	

・どなたといらっしゃいましたか？

家族	友人	ツアー	一人	学校	団体	(人)
5	2	0	23	0	0	

・ご来館は何回目ですか？

はじめて	2～3回	4回以上	(人)
2	1	27	

・今回の来館の目的は？シンポジウム以外にありましたらお答えください。

特別展	常設展	旅行のついで	その他	(人)
12	1	0	2	

・旅行でお越しの方にお聞きます。当館以外に、どちらに行きますか？(行かれましたか？)

観光施設等をご記入下さい。

・いつきの宮

・交通手段は？

鉄道	自家用車	観光バス	その他	無回答	(人)
4	19	0	1	6	

【その他】

・徒歩

・職員の対応は、いかがでしたか。

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	(人)
21	2	0	0	7	

よろしければその理由をお書きください。

【満足】

・にこやかに対応していただきました。

・説明、親切です。

・スムーズな対応でした。ありがとうございました。

・シンポジウムが長時間なので小学生の娘がご迷惑をおかけするのではないかと心配していたところ、スタッフの方が、イベントの方に誘っていただきました。ありがとうございました。

シンポジウム「女と男の食文化」についてお聞きします。

この展覧会を、どこで知りましたか？（複数回答可）

新聞	雑誌	テレビ	ラジオ	ホームページ	県・市町の たよりや 広報等	チラシ	ポスター	twitter
1	0	0	0	1	7	16	5	0

各種機関や 団体の情報誌	口コミ	学校	博物館に 来たら 開催していた	その他	(人)
1	1	1	1	0	

新聞…朝日

チラシ…図書館

・シンポジウムについて

①内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	(人)
15	12	0	0	3	

よろしければ理由をお書きください

【満足した】

- ・実生活に役立つ話（食生活や近辺の産物など）がよかった。（伝統的な食習慣なども感じた。）ダイバーシティの話、よかった。
- ・たのしく、よくわかった。
- ・駒田さん大変おもしろい。話しのテンポが良い。
- ・講演内容も多様で興味深かった。

【やや満足】

- ・時間（1人分の）が少なかったように思う。言葉がはっきりしなかった。
- ・東海林先生のお話は速くてわかりにくかった。駒田先生は胸がすく思いでした。

②講演の資料はいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	(人)
16	10	0	0	4	

よろしければ理由をお書きください

【満足した】

- ・字も見やすかった。映像などの説明よくわかった。
- ・いろいろ用意してくださって…。
- ・それぞれのお立場での講演は盛りだくさんでした。
- ・成田先生の発表時間がもう少し長ければ。(おもしろい内容が多かったので)

【やや満足】

- ・できればむづかしい漢字にはルビをつけてほしい。

③カラーパンフレットはいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満	その他	無回答	(人)
20	7	0	0	0	3	

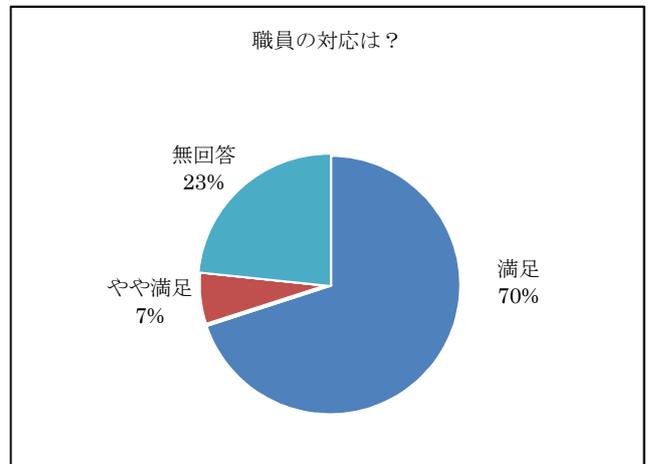
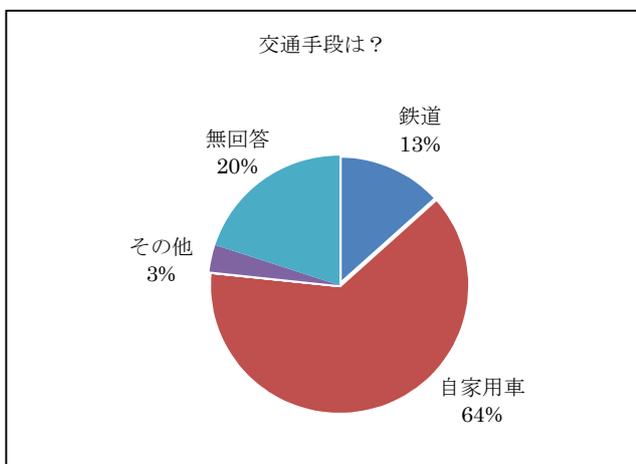
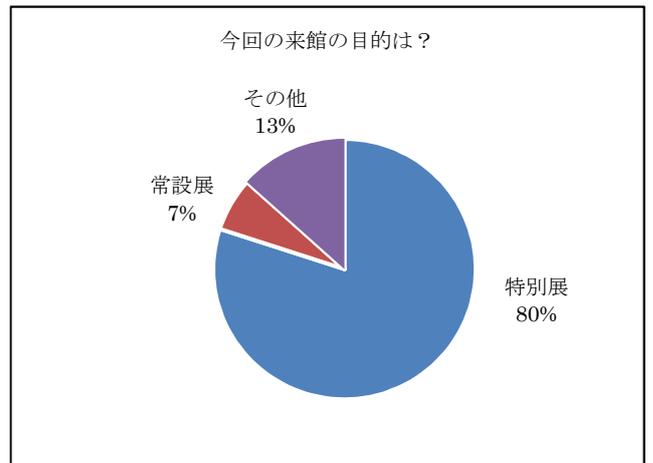
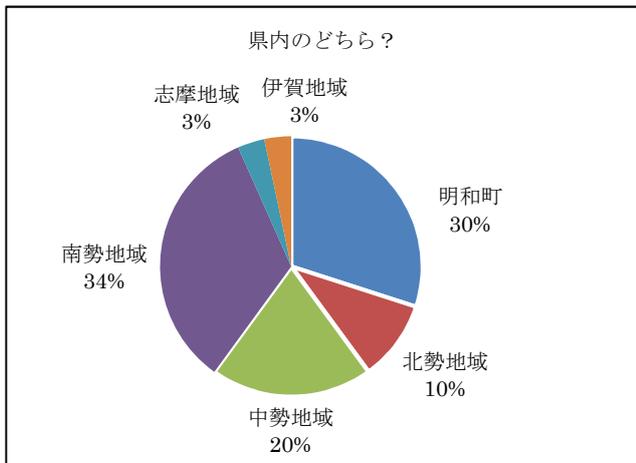
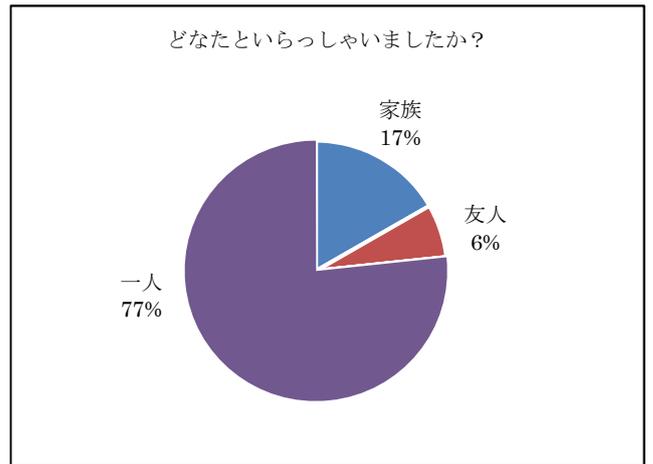
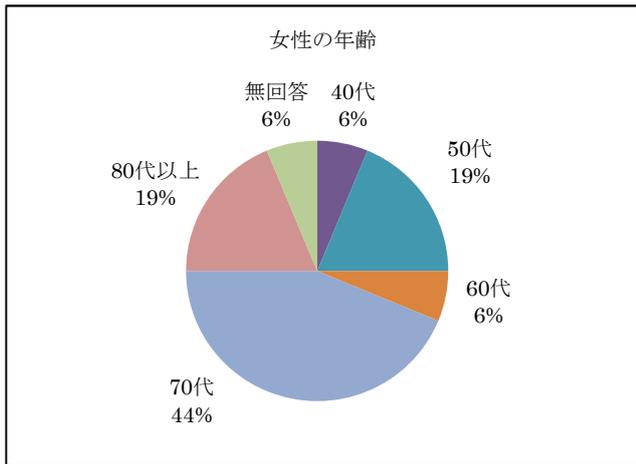
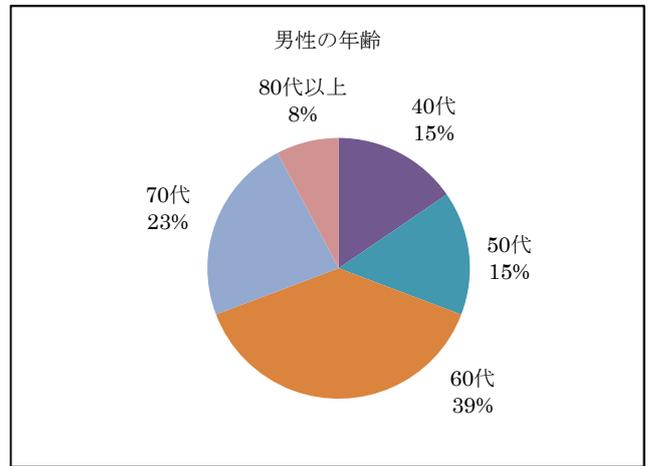
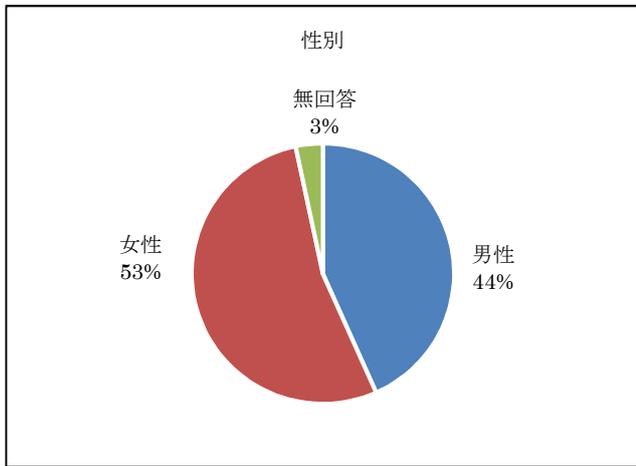
よろしければ理由をお書きください

【満足した】

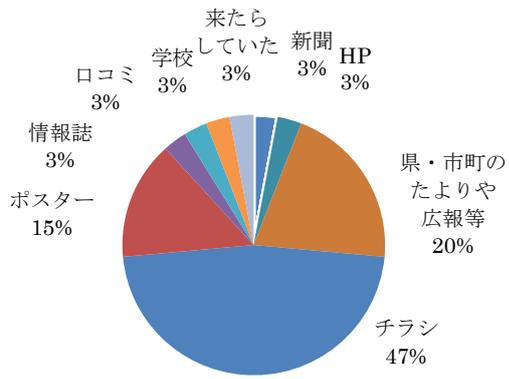
- ・たのしくいただいています。
- ・斎宮跡の植物調査をしています。2年後は出版(たぶん岡田財団)を考えていますが表紙には植物ではなく平安時代の女性を配したものはどうか？と考えています。参考にさせていただきます。

◎その他ご要望がありましたらお書き下さい。

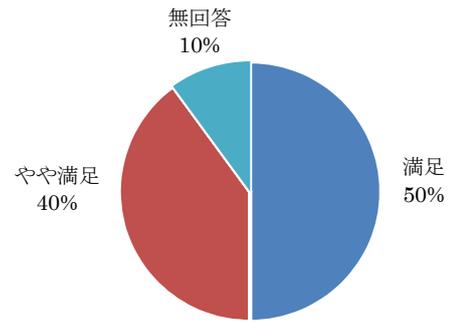
- ・私の育った家庭は父が料理上手なので食事を作っていました。男が料理することは分業ということで誰がしても良いのではないかと。男女を問わず。
- ・内容は豊富でしたが、ひとつふたつにしぼって、平安時代～現代までをもう少し詳しく知りたいと思いました。また、平安時代の庶民はどんなものを食べていたのか、食事の様子など知りたいと思いました。
- ・講演時間(シンポジウムだから長時間が多いのでしょうか)帰り電車の時間(帰宅の時間が電車の連絡が悪いので少し気がかりで。ほんの少し短かければありがたいのですが。)
- ・時間が足らなかったか。
- ・第1回斎宮ダイバーシティ・シンポジウムというのを初めて知りました。今後大きく発展されますことお祈り致します。
- ・シンポジウムの案内発表が遅かったのでは？内容が良かったので、もう少し広くに知られていればと思った。
- ・服藤氏のスピーチ(最初と最後の)を簡略にしてくださいました。しゃべりすぎます。
- ・次回も来れることを願っています。



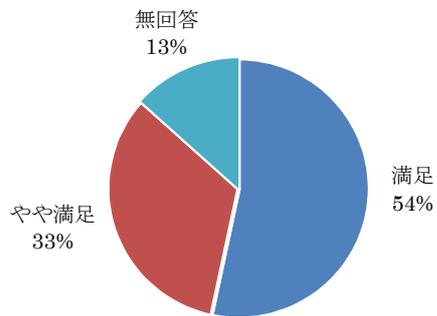
このシンポジウムをどこで知りましたか？



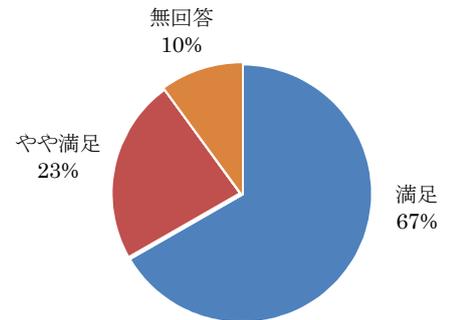
内容は？



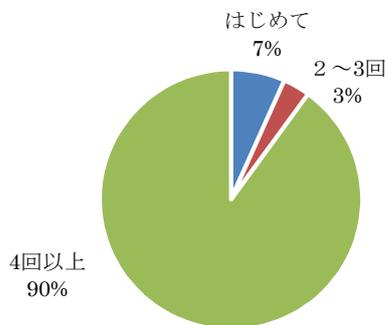
講演の資料は？



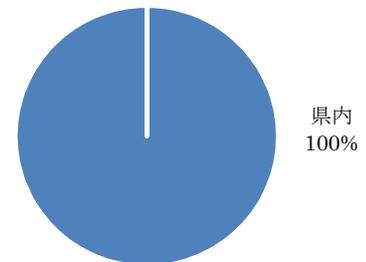
カラーパンフレットは？



ご来館は何回目ですか？



どちらからいらっしゃいましたか？



第2回ダイバーシティ・シンポジウム「いろいろな人たちが作り上げた平安時代」についてのアンケート

平成31年2月11日実施 受講者100名 63枚回収 回収率63%

・あなたの性別は？

性別	男性	女性	不明	(人)
	23	39	1	

不明(1)…年齢も不明

・あなたの年齢は？

男性	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
	0	0	0	2	3	8	10	0	0

(人)

女性	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
	0	3	1	3	12	5	13	0	2

(人)

・どちらからいらっしゃいましたか？

三重県内	三重県外	(人)
58	5	

県内のどちら？

明和町内	北勢地域	中勢地域	南勢地域	志摩地域	伊賀地域	東紀州地域	(人)
22	5	5	25	0	1	0	

県外のどちら？

愛知県	岐阜	東京	(人)
3	1	1	

・どなたといらっしゃいましたか？

家族	友人	ツアー	一人	学校	団体	(人)
8	18	0	37	0	0	

・齋宮にお越しいただいたのは何回目ですか？

はじめて	2～3回	4回以上	無回答	その他	
8	5	47	2	1	(人)

その他…住人

・今回の目的は？シンポジウム以外にありましたらお答えください。

齋宮歴史 博物館見学	史跡見学	旅行のついで	その他	
2	3	0	8	(人)

その他…勉強、土馬・土器に字を書く体験、シンポジウムを楽しみにしていました、テーマに魅力を感じた、土馬作り

・交通手段は？(複数回答 1人あり)

鉄道	自家用車	観光バス	その他	
14	46	0	4	(人)

その他…徒歩、近くなので自分でシニアカーに乗って来た、のせてもらった

◎シンポジウム「いろいろな人たちが作り上げた平安時代」についてお聞きします。

・このシンポジウムを、どこで知りましたか？(複数回答可)

新聞	雑誌	テレビ	ラジオ	ホームページ	県・市町の たよりや 広報等	チラシ	ポスター	twitter
0	0	1	0	3	17	23	9	3

各種機関や 団体の情報誌	口コミ	学校	博物館に 来たら 開催していた	その他	
6	11	1	3	8	(人)

その他…博物館に来たら案内していた、Miemuの実習中にチラシをみつけた、教えてもらった、友人、図書館、友人のすすめ、愛知県立大学で本橋先生の講義で、古典セミナー

・シンポジウムについて

①内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満	その他	無回答	
46	10	4	0	1	2	(人)

よろしければその理由をお書きください

【満足した】

- ・普段疑問に思っていたことが解けた。史実に基づいた国文学や社会の変遷。
- ・レジュメと共にの説明がわかりやすい。
- ・とても勉強になるお話ばかりでした。
- ・各先生共はつきりと聞きやすかった。
- ・上地先生のペルーでの体験話、あまり聞かないことなのでありがたかったです。
- ・知りたいこと、知らないことがいっぱい。
- ・大変わかりやすかった。
- ・いろんなことに興味をもてた。
- ・お話がおもしろく聞きやすかった。
- ・楽しい講義を聞かせていただきました。よくわかりました。
- ・奈良・平安時代の多様な生きざまを知ることができました。又、ペルーの日系人など現地人などの生活状況を知ることになり勉強になりました。
- ・色々な視点からの講演でユニーク。
- ・斎宮の講座に通うきっかけになった澤田さんの話がきけた。

【やや満足】

- ・3からの参加でしたが楽しかったです。
- ・少し時間が足りなかった感じがする。

【やや不満】

- ・短時間なので理解しにくかった。
- ・時間が(講師の)短くわかりづらい。
- ・時間の割にテーマが広い。後半は分かりやすく良かった。
- ・一つの発表の時間が短いのでテーマ内容の説明が不十分。

【その他】

- ・「やや満足」と「やや不満」の間……最後のまとめが違和感あった。

②講演の資料はいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
41	16	3	1	2

(人)

よろしければその理由をお書きください

【満足した】

- ・丁寧でとてもよかった。ペルーの民族楽器が楽しかった。
- ・目で楽しむことができました。ペルー体験記は実に素晴らしい。何も知らなかったと知らされました。
- ・わかりやすい。
- ・ペルーの体験談、非常に楽しかったです。
- ・楽しかった。
- ・聞き逃すことも多いが、配慮された資料があり、ありがたい。
- ・勉強させていただきありがとうございました。
- ・細かく書かれていて後で読み返しやすい。

【やや満足】

- ・資料の無いスピーカーの方がみえたのでできれば資料がほしかった。
- ・澤田さんと榎原さんの資料がもう少し欲しかったと思います。参考書籍などの紹介もふくめて。

【やや不満】

- ・豪華な割に資料が充実していない。
- ・PPの印刷物も欲しかった。

【不満】

- ・無い方がいた。できればPPの資料がほしかった。

③カラーパンフレットはいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満	その他	無回答	
41	17	0	0	1	4	(人)

よろしければその理由をお書きください

【満足した】

- ・カラー表紙もきれいでした。又、各先生のお話をメモる紙が用意されているのはとても便利でした。
- ・見やすい。
- ・よくできている。
- ・メモ書き部分があり、書き込みが文章の間に入れなくてよくきれいに読み返しができると思う。

【その他】

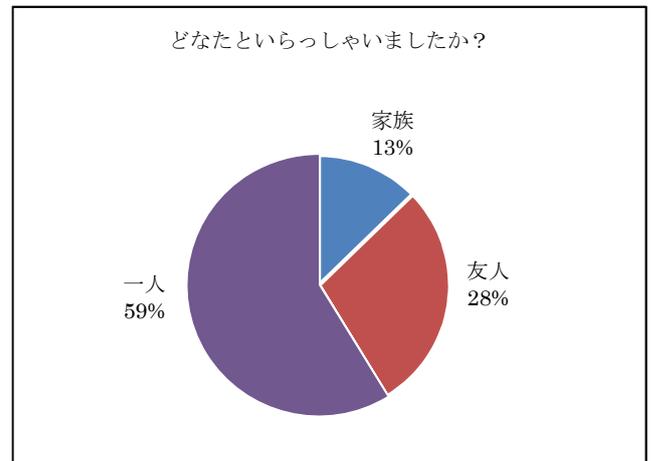
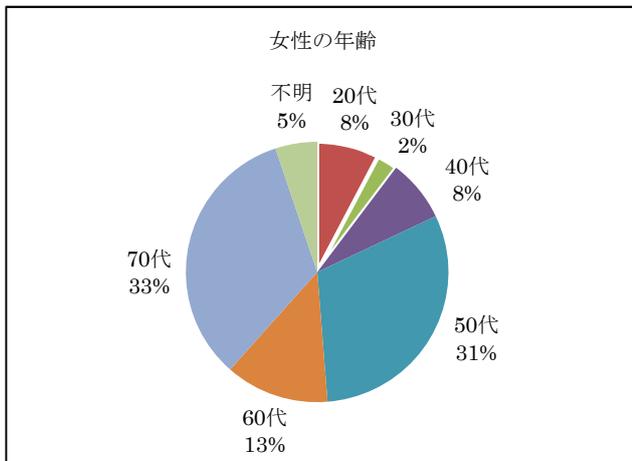
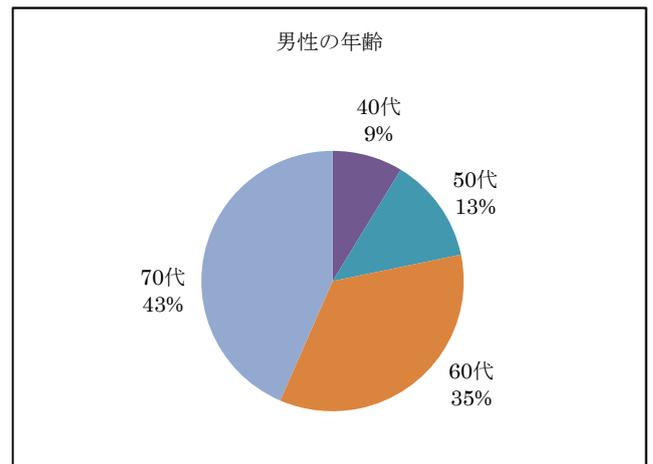
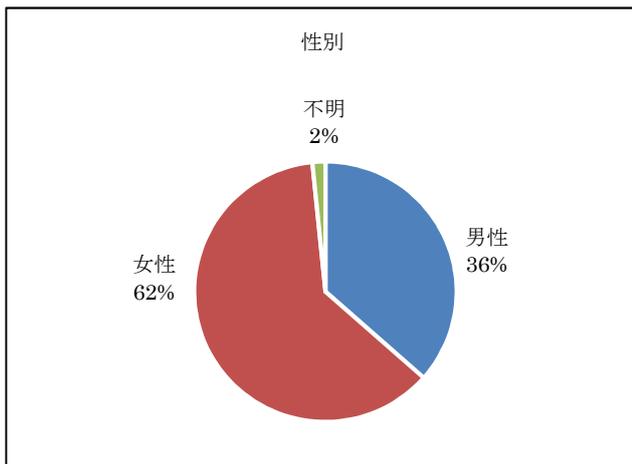
- ・「やや満足」と「やや不満」の間

【無回答】

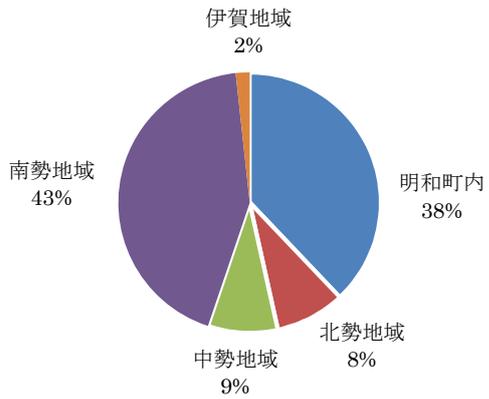
- ・パンフレット以外の説明書があり、興味深さを強めることになり、講師の熱意が伝わってきました。

◎その他ご要望がありましたらお書き下さい。

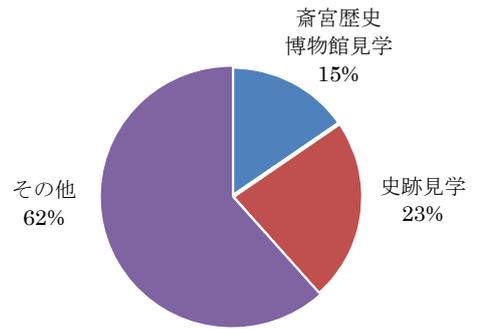
- ・時間割がいまいち。質問を書いた意味がない。最後のディスカッションが時間足りない。スタッフが講師のコップを床に落としたのに取りかえなかった。おかしい！
- ・本橋先生の「物語世界の多様な恋と生き方」のピンクのプリントが文章が縦書きであるのに輪（綴じ部分）が左であり見開きが横書き用となっていてとまどいました。資料を印刷する時の不手際でしょうか？それとも綴じ方がわからず作成？
- ・共存、共生、様々な工夫。働きやすい環境。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・「ダイバーシティ」という言葉はまだまだ知られていない言葉だと思います。本日のシンポジウムのような機会がもっと増えるとよいと思います。
- ・はじめて参加させていただきましたが、楽しく聞かせていただきました。
- ・本、企画は良い。
- ・往復はがきだけでなくインターネットでも申し込めるようにしてほしい。



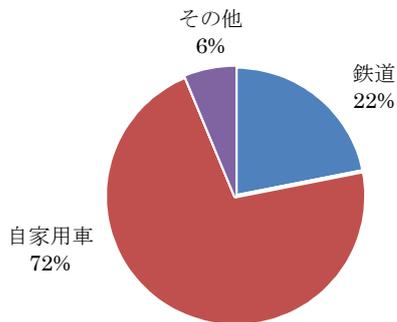
県内のどちら？



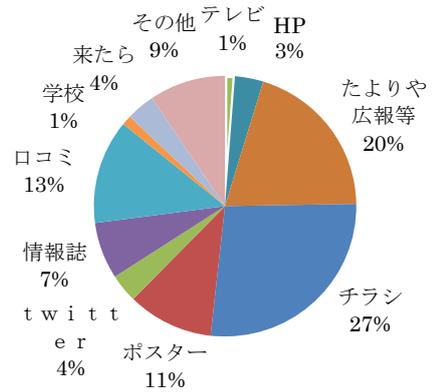
今回の目的は？



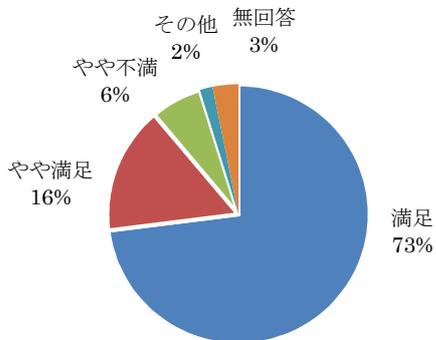
交通手段は？



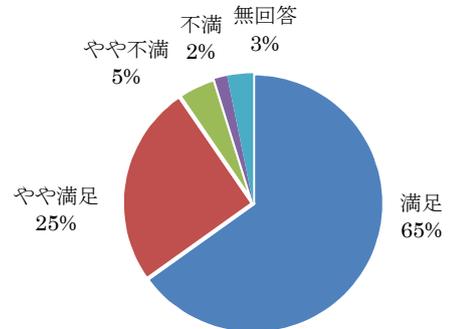
このシンポジウムをどこで知りましたか？



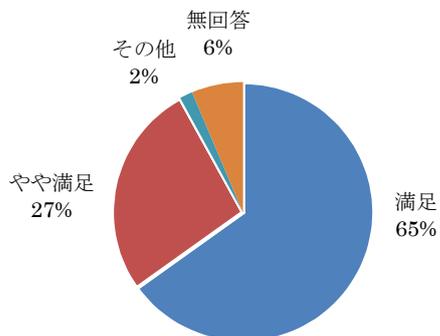
内容は？



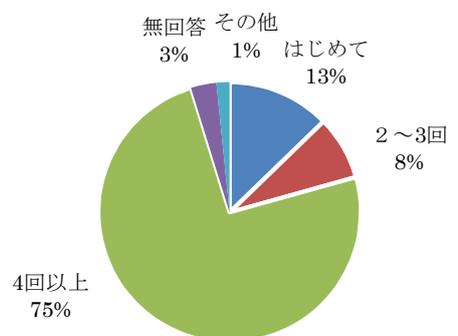
講演の資料は？



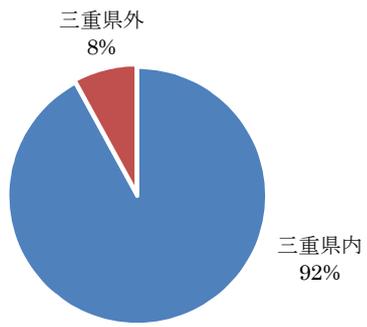
カラーパンフレットは？



斎宮にお越しいただいたのは何回目ですか？



どちらからいらっしゃいましたか？



県外のどちら？

